

編集後記

日本の農業の置かれている環境は、今後大きな変換期を迎える感があります。農業資材としての農薬の出荷額は日本では減少傾向にありますが、世界に目を向ければ、逆に増加傾向です。人口増加が予想されている海外と少子化による人口減少が叫ばれている日本の違いかもしれません。

農薬は科学的に効果や安全性が調べられて、国の登録を取得しています。しかし、不適切な使用により、適用の無い作物から農薬が検出され、結果的に作物が大量に廃棄処分となるなど、不注意がもたらす事故がゼロにはなっていない状況です。

今年、欧州委員会で特定の農薬がミツバチに対し影響を与えるとされ、ミツバチが訪花する可能性のある作物への使用制限が決まりました。この決定には科学的根拠が不十分という反論が出ています。欧米では巣に女王や幼虫を残したままミツバチの働き蜂が突然いなくなる蜂群崩壊症候群(CCD)が知られ、その原因となる説は報告されていますが、結論には至っていません。

日本でも農薬とミツバチの関係では、時々科学的とは言えない研究結果をそのまま鵜呑みにした報道がなされます。日本では欧米で報告されているような CCDは起きていないというのが農林水産省の見解です。日本では過去 10年間飼養蜂群数の減少は起きていないという報告もされており、欧米とは異なる状況のようです。

日本の農産物は品質で世界に通用するので、今後農産物の輸出比率が増えることも期待されます。安定した農業生産高を確保するためには、適正な農薬使用が不可欠と考えられます。

弊社の農薬の多くは国内で幅広い作物に使用可能な登録を有しており、海外でも多くの国で登録があるため、輸出用作物にも使用しやすくなっています。農産物の質の維持、向上に少しでも弊社農薬がお役立ていただけることを願っています。

(波多野)

事業分野

アグリビジネス、
機能性化学品事業、医療品事業
環境化学品事業、クロールアルカリ事業

発行日
編集発行人
発行所

Noyaku jidai
農薬時代
Agchem Age
平成25年12月1日
波多野 連平
日本曹達株式会社
東京都千代田区大手町2-2-1
編集部 ☎(03)3245-6178
NIPPON SODA CO.,LTD.
SHIN-OHTEMACHI BUILDING,
2-1, 2-CHOME, OHTEMACHI
CHIYODAKU, TOKYO, 100-8165, JAPAN

(禁転載)
第195号

ホームページ <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1 ☎(03)3245-6178
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-4-10 ☎(06)6229-7343
札幌営業所 〒060-0061 札幌市中央区北一条西4-1-2 ☎(011)241-5581
仙台営業所 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3 ☎(022)227-1741
信越営業所 〒949-2302 新潟県上越市中郷区藤沢950 ☎(0255)81-2323
東京営業所 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-6-2 ☎(03)3279-6961
名古屋営業所 〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-1 ☎(052)238-0003
松山営業所 〒790-0005 愛媛県松山市花園町3-21 ☎(089)931-7315
福岡営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-13 ☎(092)771-1336
二本木工場 〒949-2392 新潟県上越市中郷区藤沢950 ☎(0255)81-2300
高岡工場 〒933-8507 富山県高岡市向野本町300 ☎(0766)26-0206
小田原研究所 〒250-0216 神奈川県小田原市高田345 ☎(0465)42-3511
榛原フィールド
リサーチセンター 〒421-0412 静岡県牧之原市坂部62-1 ☎(0548)29-0611
磐梯フィールド
リサーチセンター 〒969-3302 福島県耶麻郡磐梯町大字更科字比丘山3967 ☎(0242)73-2525